

4 の三

目的や必要に応じて自分の考えの理由を挙げて書くことができるかどうかをみる問題

<関連する過去の問題>

H31全国 1 三：公衆電話について調べたことについて、報告する文章の口に分かったことを書く問題

- 三 宮本さんは、「4 まとめ」の□に「3 調べて分かったこと」の条件に合わせた書きましよう。
- 3 調べて分かったこと(3)から **考えの理由** となることを **二つ** 取り上げて書くこと。
- **ほうこくする文章** にふさわしい表現で書くこと。
- 四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

駅前の放置自転車について

(略)

(3) 自転車はどこに置けばよいか
 駅前では自転車をどこに置けばよいのでしょうか。**資料2**のように、駅から歩いて五分以内という近い場所に、市営のちゅう輪場が三つあります。混んでいる平日の朝でも、あと二百台とめられるほど、よゆうがあるからです。

4 まとめ
 駅前の放置自転車について調べて、わたしは、市営の**三つのちゅう輪場をもっと利用できるはずだ**と考えました。**なぜなら**、三つのちゅう輪場は、そうすれば、駅前の歩道に自転車があふれることもなくなるし、まだ乗れる自転車がしょぶんされることもなくなります。放置自転車をなくして、安全でくらしやすいまちをつくりたいと思います。

(資料2) 駅の近くの市営ちゅう輪場

名前	駅からの時間	とめられる台数	空き台数(平日朝)
北口ちゅう輪場	徒歩1分	400台	10台
南口ちゅう輪場	徒歩3分	400台	40台
公園ちゅう輪場	徒歩5分	600台	150台

宮本 はるか

宮本さんの学級では、だれもがくらしやすいまちづくりについて調べて、ほうこくすることになりました。宮本さんは、駅前の放置自転車について調べています。次は宮本さんが書いている**ほうこくする文章**です。これをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

【ほうこくする文章】

正答の導き方

〔1〕 問題文と〈条件〉、【ほうこくする文章】を読んで問われていることを確認する。

- ① 問題文の **——** 部から、(3)に書いていることをまとめる必要がある。
- ② 〈条件〉により、(3)から「**考えの理由**」を「**二つ**」取り上げる必要がある。
- ③ 「4 まとめ」の「**なぜなら**」の直前の文には、「**三つのちゅう輪場をもっと利用できるはずだ**と考えました。」とあり、これを「**考え**」として捉える。

〔2〕 上記③の「**考え**」の理由となること「**二つ**」を(3)から見つける。

① 駅前では自転車をどこに置けばよいか

③ 市営のちゅう輪場が三つある

② 駅から歩いて五分以内という近い場所にある

④ 混んでいる平日の朝でも、あと二百台とめられるほど、よゆうがある

(3)には、上記①～④が書かれているが、「**考えの理由**」としてふさわしいのは②④

〔3〕 〈条件〉「**ふさわしい表現**」「**字数制限**」に合わせて書く。

「**なぜなら…**」に続くように、「**から**
です。」などの**文末表現**に気を付ける。

必要な知識・技能

- 書こうとすることの中心を明確にする。
- 目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。

【正答例】

駅から歩いて五分以内という近い場所にあり、混んでいる平日の朝でも、あと二百台とめられるほどよゆうがあるからです(55字)

調査問題を活用した授業改善のための指導資料

誤答例とその原因

(誤答例1) 〈資料2〉のように、駅から歩いて五分以内という近い場所に、市営のちゅう輪場が三つあるからです(46字)

(誤答例2) 〈資料2〉のように混んでいる平日の朝でも、あと二百台とめられるほどよゆうがあるからです(43字)

◆ (3) から、考えの理由を1つしか取り上げていない。

※ (誤答例1) については、「ちゅう輪場が三つある」ことは理由にはならない。

(誤答例3) 駅から歩いて五分以内という近い場所にあり、混んでいる平日の朝でも、あと二百台とめられるほどよゆうがある(51字)

◆ 【ほうこくする文章】にふさわしい表現は敬体であるが、常体で書いている。

授業改善のポイント

- 「書くこと」の指導では、児童の「書きたい」「書いて伝えたい」という思いをもたせることが大切です。そのためには、単元の導入時に生活や他教科等との関連を図り、問題意識を高めたり、目的意識・相手意識を高めたりする指導を心がけましょう。

この前、先生が駅の近くを歩いていると、歩道に自転車がたくさんとまっていて、とても通りづらかった…。どうにかならないか、いろいろと考えてみたんだけど、みなさんも「こまったな」「問題だな」と思ったこと、気になっていることはないですか。

わたしがこの前、公園を歩いていると、ごみがたくさん落ちていて…。

買い物に行くとマイバッグを持っている人が増えてきたけど…。

「書くこと」の指導において、問題意識や目的意識・相手意識を高めることは、取材、選材、構成、推敲などの際、「よりよい表現にしよう」という思いの高まりにつながります。

- 付箋などを活用して、情報を取捨選択したり、分類・整理したりする活動を設定することは、自分の考えを明確にしたり、構成を工夫したりする上で有効です。

書くための情報を集めたけれど、集めた情報の中で、自分の考えがよりよく伝わる情報を見付けましょう。

【ちゅう輪場のきまり】は、【考え】には直接つながらないので取りのぞいたほうがよさそうです。

【駅からの時間】
北口：駅から徒歩一分
南口：駅から徒歩三分
公園：駅から徒歩五分
↓どこも五分以内

【平日朝の空き台数】
北口：十台
南口：四十台
公園：百五十台
↓まだよゆうがある

【ちゅう輪場のきまり】
・わく線の中にとめる
・ちゅう輪場内では押し
て歩く

【考え】
市営ちゅう輪場をもっと
利用すべき

- ・この二つは【考え】につながる
- ・表に整理すると分かりやすい

取りのぞく

調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げ、自分の考えとの関係を十分に捉えて書くことができるように指導しましょう。

「話すこと・聞くこと」「読むこと」でも同様に繰り返し指導することが重要です。